

BoneCrusher[®] ボークラッシャー

エネルギー効率が良く、起動の瞬間にトップスピードに到達する高トルクは「噛み込み」を最大限回避し、トラブル知らずのモデルです。
ディスポーザー本来の粉碎能力、優れたパワーがボークラッシャーの最大の強みです。



Product Features 製品特徴



EZマウント方式

EZマウント方式採用により、4ステップの工程で設置が可能になり、設置工事時間を大幅に短縮しました。

サイレントディスポーザー

防振・防音用クッションマウントを搭載し、静かな製品を実現しました。

ツインスイングハンマー

180度交互にスイングするハンマーと高速回転する回転盤で生ゴミを粉碎します。粉碎が困難な場合でも、ハンマーが噛み込みを防いで安全に処理します。

バイオシールド

抗菌剤を材質に練り込んだシールド抗菌により、細菌や悪臭からの防御を実現しました。本材質により、バクテリア等の繁殖を抑制します。

ハウジング

クッション材と空洞、壁を作ることによる防音構造です。

高性能DCモーター

省電力型モーターにより、一般的なディスポーザーの約2倍の高速回転(2,600～2,800RPM)を実現しました。業界随一の高トルクとハイスピードで、三角コーナー満杯のゴミを30～40秒で効率的に処理します。

メンテナンスフリー

定期的な部品交換や注油などは必要ありません。処理毎に「すすぎ」の時間を15秒程度とすることで、ヌメリのお掃除をしてくれます。

BONE CRUSHER 900
内部イメージ図

国内シェアNo.1メーカー

1980年代、米国ではディスポーザー製造メーカーが多数存在していました。しかし、激しい市場競争の結果、現在では上位3社が全米の90%以上の市場シェアを占めています。そのうちの1社が米国アナハイム社です。同社は、革新的なDCモーターを採用し、高機能かつ軽量・コンパクトなモデルを製造することで多くの支持を得ています。また、高い技術力と最新の設備を活用して生産される製品は、米国のみならず日本でも80万台以上が出荷され、国内販売台数No.1の実績があり、社会実験にも複数採用されるなど、幅広い信頼を築いています。現在、同社は自社製品に加えて、世界中のエレクトリックメーカーにOEM供給を行っており、その高い評価が続いています。特に「ボークラッシャー」は、1996年にディスポーザー付きマンションが登場した際、最初に採用されたブランドとして知られています。



オートクリーニング構造&クリーンナップ洗浄のW洗浄機能

ボークラッシャーは生ゴミを処理することで、同時に処理室の洗浄も行い「ヌメリ」を防ぎます。省電力型DCモーターの高速回転によって発生した水流が壁面を這い、竜巻状に上昇します。そして、上部に到達した後に落下し、その過程を繰り返して処理室内の壁面をクリーニングします。粉碎処理が終了すると回転数が更に上がり、洗浄モードに入ります。そのまま10～15秒程度「すすぎ」の時間を設け、処理室を洗浄してから運転を終了してください。ボークラッシャーはW洗浄機能でヌメリを最大限防止し、衛生状態を守ります。

省エネモデル

月々の電気代は50円以下程度*と、省エネタイプのディスポーザーです。
※5人家族で1日6回使用と仮定

軽量

一般的なディスポーザー(7～10kg)と比較して約30%軽量の設計で、シンクや作業員の負担を大幅に軽減しました。

連続投入式

連続投入式は専用のスイッチを設けて使用します。お皿を洗いながら食品カスなどをその場で連続処理できるため、ディスポーザー本来の楽で便利な機能を感じることができます。

処理できるもの

卵の殻、魚、肉、鶏骨、残飯、麺類、果物、小さな貝殻、その他の生ゴミ
※ディスポーザーはトウモロコシの外皮など特に強い繊維質の生ゴミは処理できません。

Product Type 製品タイプ



ボークラッシャー600

横幅わずか132mm。最もスリムで場所を取らない軽量ハイパワーモデルで、賃貸にも適しています。



ボークラッシャー900

卵の殻や鶏骨も楽々粉碎。三角コーナー満杯程度の生ゴミを約30秒で処理。日本でも人気の高い、3/4馬力のモデルです。



ボークラッシャー1000

驚異の1.25馬力のDCモーターを搭載し、半業務用としても多くの飲食店で導入されたハイパワーモデルです。